



チーム	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
慶應義塾大 UNICORNS	0	7	3	3	13
明治大 GRIFFINS	0	7	7	0	14

今シーズン初戦は、細かな雨が降り続く中でのナイターゲーム。明治のキックオフで試合が始まった。
※ (1) (2) …は学年、①②…は写真

試合開始早々にキックオフを大きくリターンされ自陣35ヤードまで攻め込まれるものの、ディフェンス陣がしっかりと守り得点を許さない。オフェンスでは#13QB関根那瑠(2)から#88TE田原和春(4)、#47FB小山田匠吾(4)へのショートパス、#6WR後藤珠(3)へのミドルパス①、#5RB宇野崇翔(4)②と、#31RB鎗田悠輔(2)、さらには#30QB田中香大(1)のラン③などで前進するも、フィールドゴール(FG)は惜しくもブロックされ先制ならず。1Qは0-0の均衡状態のまま終了。

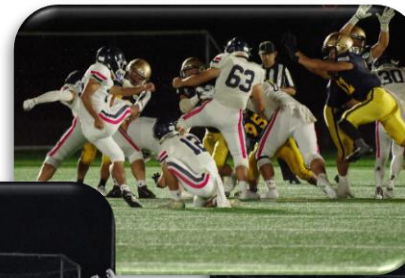
2Qに入ると、関根から田原へのミドルパス、さらに田中(香)のランで敵陣15ヤード付近まで大きく前進。宇野のランでゴール前まで迫ると、最後も宇野が中央に飛び込んでタッチダウン(TD)。#36K石山健太(2)のトライフォーポイント(TFP)も決まり先制。キックオフでは#44LB海津大稀(2)が好タックル④を見せたほか、#91DL渡辺大馳(2)が2度目のロスタックル。その後、慶應にロングパスからTDを許して7-7となるが、ディフェンス陣が踏ん張り、同点のまま前半を折り返した。

後半は雨の影響もあり、ファンブルから自陣18ヤードまで攻め込まれる苦しいスタートとなったが、#9関拓真(3)のインターセプトでピンチを脱出。直後に関根から#2WR後藤航太郎へのロングパスで一気に敵陣へ進むと、田中(香)の連続ランで敵陣8ヤードまで前進し、最後は再び宇野が中央を突破しTD。TFPも決まり14-7と勝ち越した。しかしその後、慶應の激しいラッシュで、パントを蹴ることができず、自陣25ヤードから慶應の攻撃に。それでも#94DL中里礼温(4)、関がQBを捕まえるなどディフェンスが踏ん張り、TDを許さずFGに抑えて14-10とリードを守った。

4Qも再び激しいラッシュを受け、今度はパントをブロックされて、自陣35ヤードから慶應の攻撃となった。ここでもディフェンス陣が粘り強く守り、FGによる3点のみに抑えて14-13。残り5分41秒からの攻撃では、関根から後藤(航)へのパス、宇野、鎗田のランで前進。しかし残り53秒、敵陣33ヤードからのFGトライをブロックされ、そのまま自陣28ヤードまでリターンされると、さらにランでゴール前まで攻め込まれた。残り7秒、慶應が逆転を狙った20ヤード付近からのFGを試み、万事休すかと思われたその瞬間、#DB立田優希(3)が飛び込んで、見事なキックブロック⑤。1点のリードを守り切る劇的な幕切れに、観客も総立ちとなり大きく沸き立った⑥。

幾度もピンチを迎えながら最後まで集中力を切らさず、14-13で競り勝った明治グリフィンス。初戦を勝利で飾った勢いを、次戦につなげてもらいたい。

秋大会第1戦 VS. 慶應義塾大 UNICORNS



■応援席から

グリフィンスのスポンサーuka社の西岡浩介さん(1989年卒)「85年の甲子園出場後、40年経った。再び甲子園に行くことは、私たちOBの夢でもあります」

【公式】uka | トータルビューティーカンパニー

shop 全国12店舗を展開

ukafe 父母学年会などの集まりに



■次戦

9月12日(土)15:00 VS. 日本体育大学 TRIUMPHANT LION @アミノバイタルフィールド

春季オープン戦での雪辱は、**ALL OUT**で果たす!

Go! GRIFFINS